

# 沖縄の森林・林業

令和2年版



沖縄県農林水産部

森林管理課



## はじめに

森林は、水源の涵養、災害防止機能、地球温暖化防止等多様な機能の発揮を通じて、県民が潤いと安らぎのある生活を営む上で重要な役割を果たしています。

また、森林は再生可能な資源であり、木材や特用林産物等の供給源として地域の経済活動にも深く関係しています。その恵みを持続的に活用するには、森林を適切に管理・整備・保全することが重要です。

沖縄北部地域のやんばる三村（国頭村、大宜味村、及び東村）においては、平成28年9月15日に「やんばる国立公園」として国立公園に指定され、当該地域の貴重な森林資源を生かした持続可能な林業生産活動が益々重要となっております。

沖縄県においては、社会経済情勢の変化等により顕在化した課題へ対応するため平成29年5月に「沖縄21世紀ビジョン基本計画」を改定しました。農林水産部では、同基本計画において自立型経済の構築に向けた重点産業の一つとして位置付けられている農林水産業について、地域特性を生かした振興を図るため、「沖縄21世紀農林水産業振興計画（後期）」を策定し、沖縄21世紀ビジョン基本計画の目標を着実に達成するよう農林水産業のさらなる振興対策に取り組むこととしております。

こうしたなか、森林・林業については、沖縄県森林・林業アクションプラン「うまんちゅの森づくり（後期）」を平成29年3月に策定して、各施策の推進方向及び施策の展開を示し、適正な森林管理と持続的林業経営の構築に向け取り組んでおります。

本書は、沖縄県の森林・林業に関する現状及び統計資料をまとめたものであり、本書を今後の施策立案等に広くご活用いただけたら幸いです。

令和2年12月

沖縄県農林水産部長  
長 嶺 豊



## 目 次

1. 森林・林業の概要 -----	1
1-1 森林資源-----	1
1-2 森林計画区別森林資源（民有林） -----	2
1-3 森林の果たす役割-----	3
2. 森林・林業施策-----	4
2-1 沖縄21世紀ビジョン基本計画における森林・林業施策の体系-----	4
2-2 主な成果指標-----	5
2-3 林業産出額 -----	5
2-4 沖縄県森林・林業アクションプラン-----	6
3. 森林計画 -----	8
3-1 森林計画の概要（体系図） -----	8
3-2 地域森林計画-----	8
3-3 市町村森林整備計画 -----	10
3-4 森林経営計画-----	11
4. 森林整備（造林） -----	12
4-1 森林整備事業（造林）の概要 -----	12
4-2 森林整備（造林）事業の補助体系 -----	13
4-3 令和元年度市町村別、樹種別造林実績 -----	14
4-4 民有林補助造林実績 -----	15
4-5 人工造林樹種別内訳表及び樹下植栽実績-----	17
5. 林道 -----	18
5-1 林道事業の概要 -----	18
5-2 市町村別林道の現況 -----	19
5-3 林道整備事業の実績 -----	20
5-4 林道補助事業一覧表 -----	21
5-5 林道施設災害復旧事業実績-----	22
6. 治山 -----	23
6-1 治山事業の概要 -----	23

6-2	治山事業の実績	23
7.	保安林	24
7-1	保安林の概要	24
7-2	保安林の現状	24
7-3	保安林指定施業要件伐採種別	24
7-4	市町村別・民有保安林面積	25
7-5	民有保安林指定状況（延面積）	27
8.	林地開発許可制度	28
8-1	林地開発許可制度の趣旨	28
8-2	林地開発許可状況	29
8-3	連絡調整状況（協議）	29
8-4	林地開発許可制度の体系図	30
9.	森林保護	31
9-1	森林病虫害	31
(1)	森林病虫害等防除事業の現況	31
(2)	森林病虫害防除実績（民間地域）	32
(3)	松くい虫被害量の推移（民間地域）	32
9-2	森林保険	33
(1)	森林保険の概要	33
(2)	森林保険事業実績	33
10.	林業構造改善事業	34
10-1	林業構造改善事業の概要	34
10-2	事業別・経費内訳	35
10-3	林構事業一覧表	38
11.	林産・木材需要	39
11-1	県産木材の供給の概要	39
11-2	木材需給	40
(1)	県内の木材需給の概要	40
(2)	木材需給量	41
(3)	木材利用の意義	42
11-3	木材関連産業	43

(1) 製材工場	43
(2) 県産材を取り扱う木材加工施設	43
11-4 特用林産物の生産	44
12. 森林組合・林業労働力	45
12-1 森林組合	45
(1) 森林組合の概要	45
(2) 森林組合位置図	46
(3) 森林組合等の現況	47
12-2 林業労働力	48
(1) 林業労働力対策事業等の概要	48
(2) 林業労働力	49
13. 県営林	50
13-1 県営林の概要	50
13-2 造林実績	50
13-3 収穫実績	50
13-4 県営林所在別面積	51
14. 種苗	52
14-1 種苗の現況	52
14-2 樹苗生産	53
15. 林業普及指導	55
15-1 林業普及指導事業の概要	55
15-2 林業普及指導事業の内容	55
(1) 巡回指導、地域運営	55
(2) 普及指導員の研修	55
(3) 林業技術現地適応化事業	55
(4) 林業普及情報活動システム化事業	56
15-3 林業後継者育成対策等事業の概要	57
(1) 林業普及指導協力員の活用	57
(2) 林業後継者育成	57
(3) 森林・林業普及啓発推進	58
15-4 林業研究グループの活動	59
15-5 林業普及指導員の配置	60

(1)	一号林業普及指導員の配置	60
(2)	二号林業普及指導員の配置	60
16.	林業金融	61
16-1	林業・木材産業改善資金貸付事業	61
(1)	目的	61
(2)	貸付の限度額等	61
(3)	貸付実績推移	61
16-2	沖縄振興開発金融公庫資金	62
16-3	農林漁業信用基金（林業・木材産業信用保証業務）	63
(1)	目的	63
(2)	制度の仕組み	63
(3)	出資・保証実績	63
17.	森林の総合利用	64
17-1	沖縄県県民の森	64
(1)	設置	64
(2)	主な施設	64
(3)	県民の森年度別入園者数	64
(4)	平成28・29・30・31年度県民の森月別入園者数	64
17-2	森林ツーリズムの推進	65
(1)	森林ツーリズムの概要	65
(2)	森林ツーリズムの実績	65
18.	試験研究	66
18-1	概要	66
(1)	公益的機能の高度発揮	66
(2)	森林整備技術の高度化	66
(3)	森林保護管理技術の高度化	67
(4)	林産物の生産・加工・利用技術の高度化	67
(5)	緑地景観形成・保全技術の高度化	67
18-2	令和元年度試験研究・調査等の成果	68
18-3	令和2年度試験研究課題の概要	70
18-4	令和2年度試験研究関連業務	73

19. 森林環境譲与税-----	74
20. その他-----	75
20-1 令和2年度当初予算-----	75
20-2 林務行政組織図-----	76
20-3 林務関係職名別内訳表-----	76
20-4 林業関係団体-----	77
20-5 県の木・花・鳥-----	78
20-6 市町村の木・花・花木の指定状況-----	79
21. 資料-----	80
21-1 土地利用状況-----	80
21-2 齢級別森林資源構成表-----	82
21-3 所有形態別森林資源表-----	84
21-4 森林分布概況図-----	85



# 1. 森林・林業の概要

## 1 - 1 森林資源

本県の森林面積は、106,913ha で、そのうち国有林が 32,122ha、民有林が 74,791ha となっている(図1)。

民有林における森林資源の蓄積量は9,877 千 $m^3$ でこれを天然林、人工林別に見ると天然林の蓄積が 80 %を占め、また、所有形態別に見ると、県有林が 9 %、市町村有林が 60 %、私有林が 31 %となり、市町村有林が高い比率を占めている(図2, 3)。

民有林における森林資源は、ha 当たりの蓄積で132  $m^3$ となっており、全国の231  $m^3$ に対し低い状況となっている(表1)。

図1 森林面積

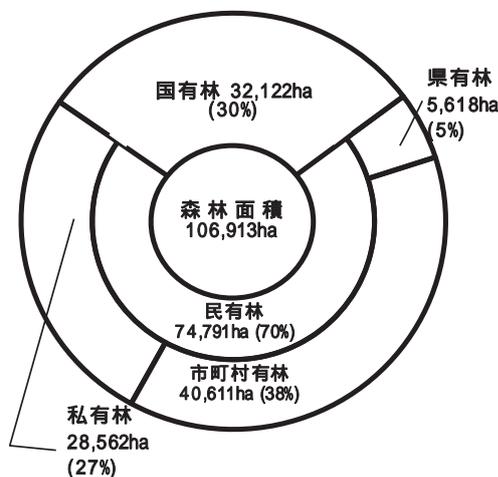


図2 民有林の林種別及び針広別蓄積量

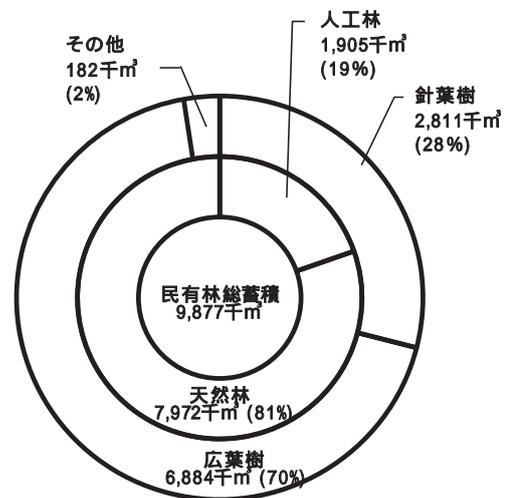


図3 民有林の所有形態別蓄積量

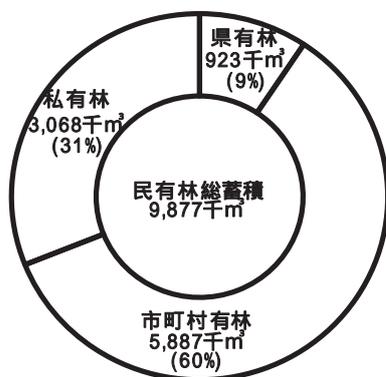


表1 森林資源の全国比較

区 分		沖縄	全国
森 林 率	森 林 総面積 (%)	47	67
	蓄 積 森林 ( $m^3$ )	132	231
民有林率	民有林 森林 (%)	70	69
民有林の人工林率 (面積)	人工林 森林 (%)	14	46

注) 1. 図1の国有林は、令和2年4月1日現在有効の国有林の地域別森林計画書による。  
 2. 図2・3の蓄積量は、地域森林計画対象民有林のみの数値である。また、更新困難地の蓄積を含めている。  
 3. 本県の数値は令和2年4月1日現在有効の地域森林計画の数値で、全国の森林率は平成29年3月31日現在である。  
 4. 単位未満四捨五入のため、総数と内訳は必ずしも一致しない。

## 1-2 森林計画区別森林資源表（民有林）

（単位 面積ha 材積立木,000 m<sup>3</sup>、立竹,000 束 率%）

区分	総数	立						地						竹	無立木地			更新困難地	ギンネム等	人工林率
		合計			人工林			天然林			総数	伐採跡地	未立木地							
		総数	針葉樹		総数	針葉樹		総数	針葉樹											
			針葉樹	広葉樹		針葉樹	広葉樹		針葉樹	広葉樹										
沖縄 総	面積	74,791	17,432	48,051	10,309	6,301	4,008	55,174	11,131	44,043	184	3,619	42	3,577	3,930	1,576	14			
	材積	9,877	2,811	6,884	1,905	1,347	558	7,790	1,463	6,327	-	-	-	-	182	0				
沖縄 北部 地	面積	45,247	11,449	30,401	6,229	4,185	2,043	35,621	7,264	28,357	16	1,699	16	1,683	1,604	80	14			
	材積	6,040	1,645	4,288	948	686	262	4,985	959	4,026	-	-	-	-	107	-				
沖縄 中南部 地	面積	13,202	4,103	5,267	1,545	892	653	7,825	3,212	4,613	19	1,527	2	1,525	1,755	532	12			
	材積	1,219	532	637	221	130	91	948	402	546	-	-	-	-	50	-				
宮古 八重山 地	面積	16,342	1,879	12,384	2,535	1,224	1,312	11,728	656	11,073	150	393	24	369	571	965	16			
	材積	2,618	634	1,960	737	531	205	1,857	102	1,755	-	-	-	-	25	-				

（注）1．この表は令和2年4月1日現在有効の地域森林計画書の数字である。

2．合計と内訳の数値が一致しないのは四捨五入によるものである。

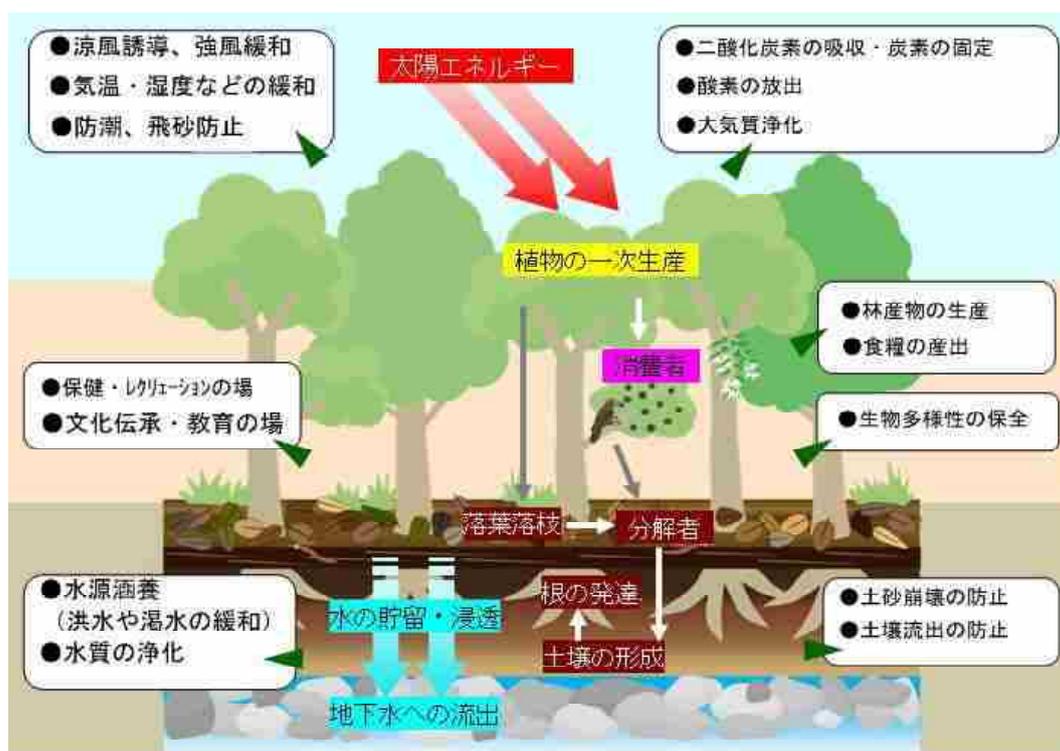
### 1-3 森林の果たす役割

森林は、雨を樹木の葉や幹で受けとめ表土の流出を防ぎ、発達した樹木の根は土砂崩壊を防ぐ（山地災害防止機能/土壌保全機能）とともに、表土を覆う植生や落葉落枝は雨水を一時的に蓄え、徐々に川へ送り出すことで洪水や渇水を緩和（水源涵養機能）している。

また、森林は、大気の浄化、騒音や潮風・季節風の緩和などを行う（快適環境形成機能）ほか、潤いのある自然環境や歴史的風致を作り出し（文化機能）、身近な自然や、自然とのふれあいの場を提供する（保健・レクリエーション機能）とともに、野生生物のすみ処や餌となり、複雑な食物連鎖をつくり出している（生物多様性保全機能）。さらに、森林には、木材や薪、山菜、樹実等の林産物を産出する重要な役割（木材等生産機能）と合わせ、成長により二酸化炭素の固定（地球環境保全機能）を行っている。

このように、森林は生物を育み、水を蓄えるとともに、国土の保全、生命や財産の保全のほか、私たちの暮らしに必要な様々な恵みを与えている。

人は、森林の恵みを通して生活を営み、安らぎや潤いを感じ、文化を育んできた。森林は、人々の生活にとって切っても切り離せない不可欠な存在となっている。



森林の有する様々な機能

## 2. 森林・林業施策

### 2-1 沖縄21世紀ビジョン基本計画における森林・林業施策の体系

#### 1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して

- ① 自然環境の保全・再生・適正利用
  - 陸域・水辺環境の保全
    - \* 県木リュウキュウマツについては、天敵昆虫による防除技術の確立等
- ② 低炭素島しょ社会の実現
  - 地球温暖化防止対策の推進
    - \* 森林吸収源対策の推進

#### 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して

- ④ 社会リスクセーフティネットの確立
  - 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
    - \* 自然環境の回復や環境に配慮した治山施設や防風・防潮林等の整備

#### 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して

- ⑤ 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興
  - おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
    - \* 森林の有する利用区分(ゾーニング)の実施
    - \* 特用林産物の安定生産や県産材を利用した木工芸等の推進
    - \* 計画的な森林・林業の振興
  - 流通・販売・加工対策の強化
    - \* 国内外の消費者・市場に信頼される品質の高い農林水産物及び加工品を効率的かつ安定的に供給できる体制の構築
  - 農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化
    - \* 新規就業の促進、担い手の育成・確保、農林漁業者の経営安定対策の強化
    - \* 農林漁業制度資金など金融支援の強化や経営改善等の推進
  - 農林水産技術の開発と普及
    - \* 森林の持つ多面的機能の高度発揮、地域活性化のための森林造成技術、木材加工技術やきのこと類の生産技術の確立、景観形成に資する花木や緑化技術等の研究開発の推進
  - 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
    - \* 豊かな森林資源を生かした持続可能な林業生産活動の促進と自然環境に配慮した森林整備の推進

○フロンティア型農林水産業の振興

\*地域の魅力ある素材の発掘や地域特性を生かしたツーリズムの推進

\*農林水産業の6次産業化による新市場開拓と農林水産資源の活用推進

## 2-2 主な成果指標

指標名	基準年	30年度	33年度
防風・防潮林整備面積	533 ha (H23)	560 ha	593 ha
特用林産物生産量	1,204トン (H22)	1,295 トン	1,770 トン
県産木材の供給量	5,812 m <sup>3</sup> (H21)	7,836m <sup>3</sup>	6,514 m <sup>3</sup>
造林面積	4,906 ha (H22)	5,194ha	5,346 ha

## 2-3 林業産出額

単位：百万円

目標とするすがた		基準年	R元年度	10年後の目標
林業生産額		1,117 (H22)	1,516	1,560
内 訳	木材	159	120	290
	特用林産物	741	976	1,120
	緑化木等	217	419	150

## 2 - 4 沖縄県森林・林業アクションプラン

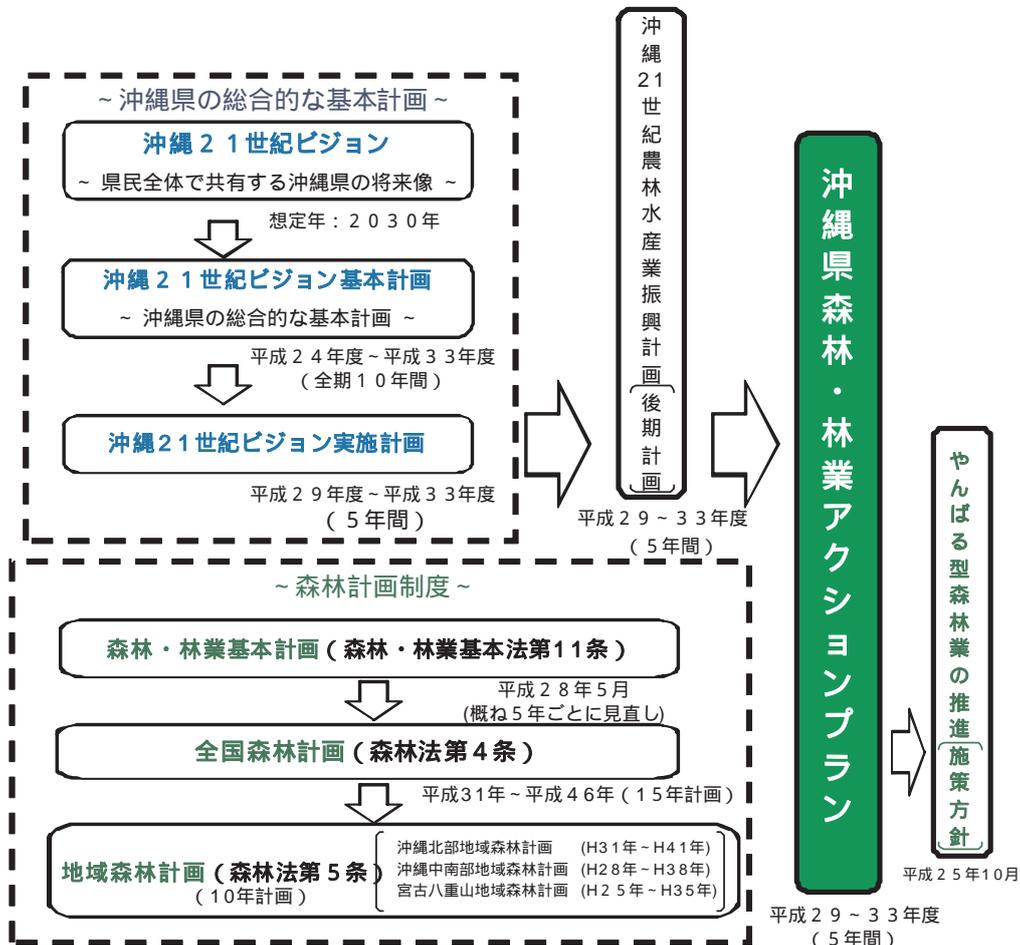
県では、これまでの沖縄振興計画の成果を踏まえ、将来のあるべき沖縄の姿を描いた基本構想である「沖縄21世紀ビジョン」を策定するとともに、同ビジョンの実現を目指して、新たな計画の基本方向や基本施策を示す「沖縄21世紀ビジョン基本計画」及び「同実施計画」を策定した。

また、同基本計画において自立型経済の構築に向けた重点産業の一つとして位置づけられている農林水産業について、地域特性を生かした振興を図るため、農林水産部のアクションプランである「沖縄21世紀農林水産業振興計画」を策定している。

森林・林業に関しては、長期的な視点に立った計画的かつ適切な森林の取扱いを推進することが必要であることから森林法において森林計画制度が定められている。県では当該制度のもと、全国森林計画に即し、民有林における県内3計画区（沖縄北部、沖縄中南部、宮古八重山）別に地域森林計画を策定している。

沖縄県森林・林業アクションプラン「うまんちゅの森づくり」は、これらの計画に基づき、森林・林業の各施策の推進方向及び施策の展開を示すとともに、施策の具体化のための指針となるものである。

なお、やんばる3村（国頭、大宜味、東）の森林については、社会的要請が多様化している状況を受け、自然環境の保全と環境に配慮した利活用の推進を図ることを目的に「やんばる型森林業の推進（施策方針）」（平成25年10月策定）を定め、施策を推進しているところである。



## (1) アクションプラン(後期)の計画期間

前期計画については、平成26年度から平成28年度までの3カ年の計画期間であった。

後期計画である本プランは、沖縄21世紀ビジョン実施計画(後期)並びに沖縄21世紀農林水産業振興計画(後期)期間内で、平成29年度を始期とした平成33年度までの5カ年間とする。

## (2) アクションプランの推進方向

沖縄の特徴ある豊かな森林資源を活かした、環境と調和した持続可能な林業生産活動、計画的な森林・林業の振興、新たな森林利用の推進。

森林の適正な保全・管理を通じた、森林の持つ多面的機能の維持・増進。

持続的な林業生産活動を図るため、担い手となる林業事業者や林業後継者等の育成の推進。

## 森林・林業施策の推進体系

### 1 目標

適正な森林管理と持続的な林業経営の構築

### 2 推進方向

- (1) 環境と調和した持続可能な林業生産活動、計画的な森林・林業の振興、新たな森林利用の推進
- (2) 森林の適正な保全・管理を通じた、森林の持つ多面的機能の維持・増進
- (3) 担い手となる林業事業者や林業後継者等の育成の推進

### 3 推進施策

#### (1) 多様で健全な森林の保全

森林計画等の策定  
環境と調和のとれた森林の利用区分の策定  
多面的機能の高度発揮のための森林の適正管理と保全  
災害に強い県土づくり  
自然環境に配慮した防災林の造成

#### (3) 県産材の利用の推進

県産材の利用開発  
県産材の需給情報発信  
木育の推進

#### (5) 自然環境と調和する森林利用の推進

環境保全型の自然体験活動の推進  
県公園など、森林空間利用の基盤整備  
森林の有する多面的な機能の発揮

#### (2) 環境に配慮した森林施業

環境に配慮した森林整備の推進  
荒廃原野等の森林整備の推進  
環境に配慮した森林施業の推進  
環境に配慮した森林路網の整備

#### (4) 特用林産物の生産の振興

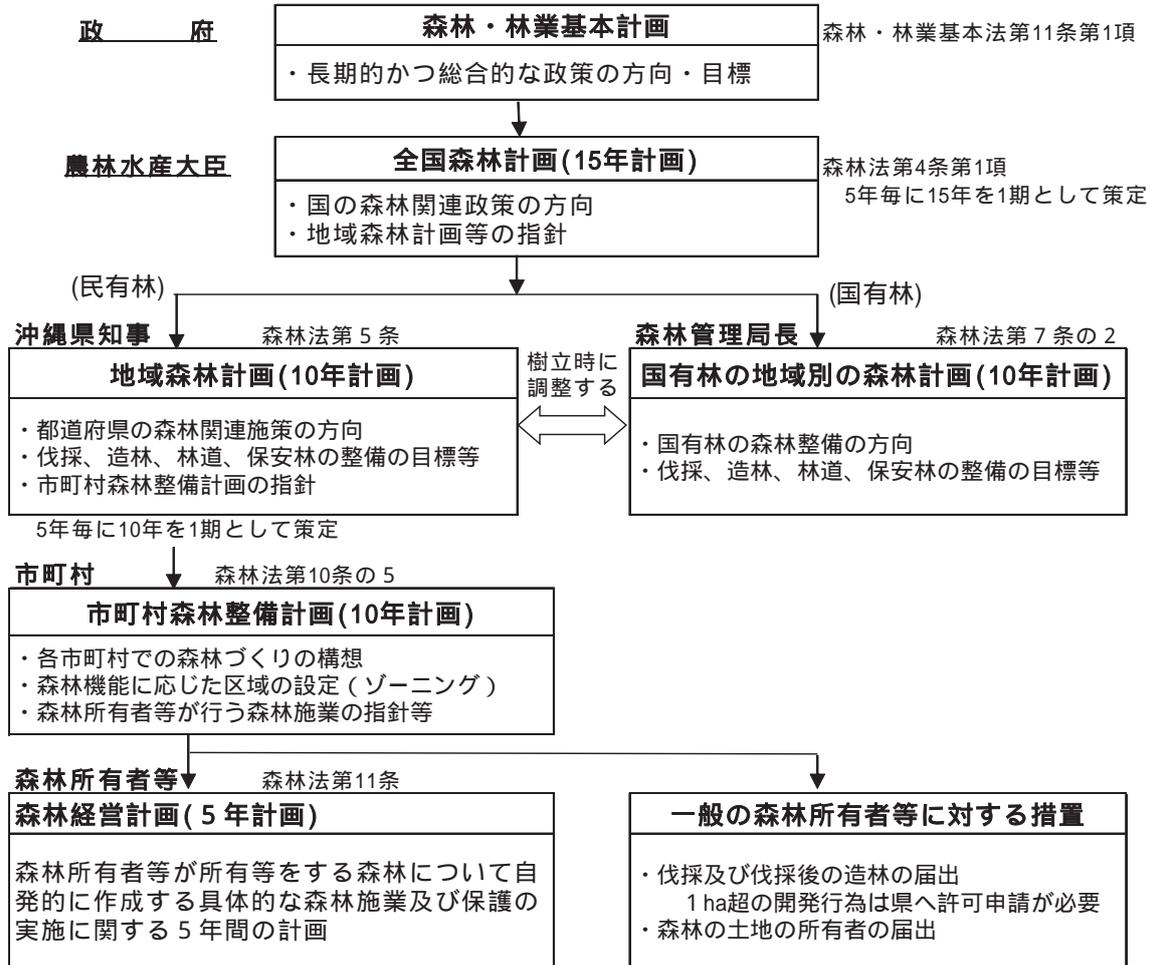
特用林産物の生産供給体制・消費拡大の強化  
機能性成分抽出用の原材料生産の推進

#### (6) 森林・林業の人材の育成

担い手育成のための各種研修等の実施  
森林づくりの計画・指導を行う人材の育成  
森林レクリエーション利用等に関する人材の育成  
森林組合の育成

### 3. 森林計画

#### 3 - 1 森林計画の概要(体系図)



#### 3 - 2 地域森林計画

地域森林計画は、県知事が、全国森林計画に即して、民有林について県内の3森林計画区別(沖縄北部、沖縄中南部、宮古八重山)に5年毎に10年を一期としてたてる計画で、県の森林関連施策の方向及び地域的な特性に応じた森林整備及び保全の目標等を明らかにするとともに、市町村森林整備計画の指針となるものである。計画事項は、以下のとおりである。

対象とする森林の区域

森林の有する機能別の森林の整備及び保全の目標、その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

伐採立木材積、その他森林の立木竹の伐採に関する事項

造林面積、その他造林に関する事項

間伐立木材積、その他間伐及び保育に関する事項

公益的機能別施業森林の区域の基準、その他公益的機能別施業森林の整備に関する事項



### 地域森林計画（伐採、造林、林道計画）

区分 森林 計画 区分	伐 採 量 (m <sup>3</sup> )									造林 (ha)			林道 開設
	計			主 伐			間 伐			計	造人 林工	更天 新然	
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹				
県計	99,800	34,200	65,600	75,500	21,100	54,400	24,300	13,100	11,200	1,004	444	560	(0.0) 13.5
沖縄 北部	51,200	16,200	35,000	40,900	11,100	29,800	10,300	5,100	5,200	618	278	340	9.0
沖縄 中南部	17,300	8,600	8,700	10,800	4,900	5,900	6,500	3,700	2,800	173	71	102	4.5
宮古 八重山	31,300	9,400	21,900	23,800	5,100	18,700	7,500	4,300	3,200	213	95	118	0

注) 1. この表は令和2年4月1日現在有効の地域森林計画書の数字である。

2. 林道開設の( )書は、改築で外数である(単位: km)。

## 3 - 3 市町村森林整備計画

### (1) 計画の目的

地域にもっとも密着した行政主体である市町村が、森林整備に関するマスタープランを策定し、これに従って、森林所有者等に対する指導を行うとともに、地域住民等の理解と協力を得つつ、県や森林組合等林業関係者と一体となって関連施策を講じることにより、適切な森林整備を推進することを目的とするものである。

### (2) 経 緯

平成10年の森林法の一部改正により、改正前の指定制度が廃止され、民有林を有するすべての市町村において策定されることとされ、さらに造林から伐採に至る森林施業に関する総合的な計画としてより地域の特性を反映させた計画が策定されることとなった。

それに伴い平成11年度から 伐採届出の受理、 施業の勧告、 伐採や造林の計画への変更命令・遵守命令、 森林施業計画（平成24年度から「森林経営計画」）の認定等の4つの権限が都道府県知事から市町村長に委譲され、各市町村の市町村森林整備計画に基づいて処理されることとなっている。なお、伐採届出は、平成13年の法改正により、伐採後の造林についても記載する、「伐採及び伐採後の造林の届出」となっている。

また、平成23年の法改正に伴う森林計画制度の見直しにより、市町村森林整備計画をマスタープラン化し、新たなゾーニングの導入や路網整備計画等の図示化を行うこととされた。

### (3) 計画事項

伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的な事項

森林の整備に関する事項

森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

造林に関する事項

間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準

公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項

森林施業の共同化の促進に関する事項

作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項

その他必要な事項

森林の保護に関する事項

鳥獣害の防止に関する事項

森林病虫害の駆除及び予防、火災の予防その他森林の保護に関する事項

森林の保健機能の増進に関する事項

その他森林の整備のために必要な事項

## 3 - 4 森林経営計画

森林経営計画は、森林所有者又は森林所有者から経営の委託を受けた者が、自発的意思に基づいて森林施業及び保護に関する5年間の計画を作成し、市町村長等の認定を受け、その計画に基づいて計画的・合理的な施業及び保護を行うことを目的としている。

本県では、平成27年度に石垣市の県営林において森林経営計画を策定しており、中長期的な計画の下森林施業を実施している。今後は、沖縄北部地域における市町村（公有林）において森林経営計画策定の推進を図る。

## 4 . 森林整備（造林）

### 4 - 1 森林整備事業（造林）の概要

森林は、林産物を供給するとともに、土砂流出防止や水資源のかん養等の多面的機能を有しており、これらの諸機能を高度に発揮するためには、森林を適切に管理することが重要である。このため、森林整備事業（造林）により、地域特性を生かした造林、保育等を計画的に推進している。

また、今大戦で激戦地となった地域においては、森林整備事業（造林）等の安全を図るため、「林野不発弾等事前探査」も実施している。

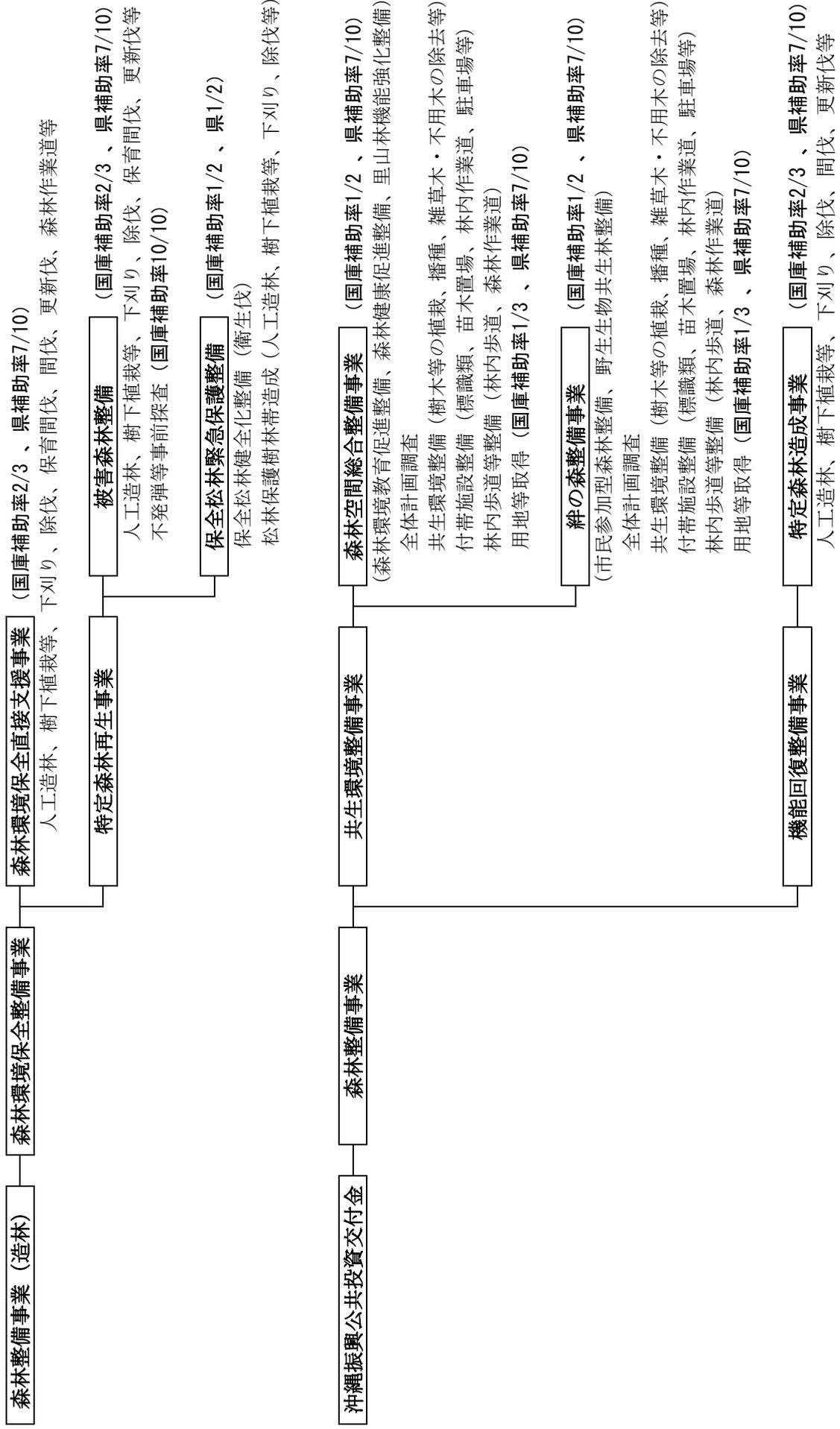
本県の森林整備事業（造林）は、主に市町村有林において実施されているが、近年、森林の伐採面積は著しく減少し、それに伴い人工造林面積も減少傾向にある。

造林樹種は、針葉樹では、リュウキュウマツ、イヌマキ、広葉樹では、イジュ、イスノキ、クスノキ等の35種が指定されている。

造 林 樹 種 一 覧 表

樹 種 名	目 標 材	樹 種 名	目 標 材
スギ	構 造 材	リュウキュウコクタン	特 殊 材
リュウキュウマツ	"	エゴノキ	"
イヌマキ	"	サクラ	"
センドン	"	デイゴ	"
クスノキ	"	テリハボク	"
イジュ	"	ジャイアントギンネム	原 料 材
イスノキ	"	タイワンフウ	"
フクギ	"	ナンヨウスギ	"
オガタマノキ	"	ガジュマル	"
タイワンオガタマノキ	"	モモタマナ	"
アカギ	"	クヌギ	"
モクマオウ	原 料 材	タブノキ	構 造 材
ソウシジュ	"	ニッケイ	"
タイワンハンノキ	"	オキナワウラジロガシ	"
ホルトノキ	"	イタジイ	"
ヤマモモ	染 料 材	ウラジロエノキ	"
シャリンバイ	"	ハマセンドン	"
		イイギリ	"

## 4-2 森林整備（造林）事業の補助体系（H31.4.1現在）



#### 4 - 3 令和元年度市町村別、樹種別造林実績

##### (1) 人工造林（単層林）実績

（単位：ha）

市町村名	イジュ	イヌキ	クスノキ	ウラジロエノキ	センダン	ハマセンダン	タブノキ	テリホク	ホルトノキ	総計
名護市	1.50									1.50
国頭村	1.33		0.72						1.10	3.15
県営林（北部）	1.32		0.25	0.85		0.05	0.60		0.75	3.82
南大東村								0.32		0.32
宮古島市		0.83						2.27		3.10
石垣市					0.49			1.96		2.45
総計	4.15	0.83	0.97	0.85	0.49	0.05	0.60	4.55	1.85	14.34

##### (2) 人工造林（複層林）実績

（単位：ha）

市町村名	イジュ	イヌキ	フキギ	リュウキユウコクタン	総計
名護市	2.60	1.33			3.93
恩納村	0.44				0.44
伊平屋村	0.60				0.60
県営林（八重山）				0.38	0.38
宮古島市			5.29		5.29
与那国町				0.40	0.40
総計	3.64	1.33	5.29	0.78	11.04

### 4-4 民有林補助造林実績

(単位 面積：ha (延長：m) 補助金：千円)

区分	育 成 単 層 林 整 備															備			
	人 工 造 林 ( 拡 大 )																		
	計				補 助 額	市 町 村			個 人			会 社			そ の 他 の 団 体			保 育	
	面 積			計		面 積			面 積			面 積			面 積	補 助 額			
新 植	人 下	計	新 植		人 下	計	新 植	人 下	計	新 植	人 下	計	新 植	人 下			計		
S47	93	262	355	36,542	25	145	170	65	74	139	2	34	36	1	9	10	261	9,547	
S48	63	226	289	42,392	34	137	171	29	64	93	0	25	25	0	0	0	285	8,477	
S49	59	75	134	26,719	55	52	107	4	23	27	0	0	0	0	0	0	379	19,666	
S50	108	49	157	38,590	52	21	73	56	28	84	0	0	0	0	0	0	242	15,052	
S51	188	36	224	58,892	62	19	82	82	16	97	9	1	10	35	0	35	231	17,435	
S52	126	38	164	49,667	59	23	82	67	14	81	0	1	1	0	0	0	243	19,627	
S53	129	38	167	60,172	112	32	144	16	6	22	1	0	1	0	0	0	275	24,878	
S54	126	41	167	87,145	114	36	150	12	5	17	0	0	0	0	0	0	465	52,392	
			(3,527)		(2,287)			(1,240)											
S55	102	34	137	83,220	99	34	134	3	0	3	0	0	0	0	0	0	694	90,788	
			(2,097)		(2,097)														
S56	146	26	172	93,128	143	26	169	3	0	3	0	0	0	0	0	0	599	80,361	
			(920)		(920)														
S57	125	19	144	87,380	116	19	135	9	0	9	0	0	0	0	0	0	728	99,256	
			(1,180)		(1,180)														
S58	116	13	129	78,592	116	13	129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	749	99,879	
			(375)		(375)														
S59	127	4	131	89,977	125	4	129	2	0	2	0	0	0	0	0	0	671	96,706	
			(1,503)		(1,503)														
S60	106	3	109	80,892	109	0	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	759	109,197	
			(2,063)		(2,063)														
S61	90	4	94	68,140	88	6	94	0	0	0	0	0	0	0	0	0	873	125,987	
			(1,169)		(1,169)														
S62	96	1	97	72,644	94	1	95	2	0	2	0	0	0	0	0	0	899	136,663	
			(553)		(553)														
S63	97	4	101	77,752	96	3	99	2	0	2	0	0	0	0	0	0	889	132,024	
			(987)		(987)														
H1	82	2	84	63,253	73	2	75	9	0	9	0	0	0	0	0	0	941	140,062	
			(885)		(885)														
H2	54	3	57	42,409	53	2	55	1	1	2	0	0	0	0	0	0	842	129,353	
			(398)		(398)														
H3	32	3	35	30,869	31	3	34	0	0	0	0	0	0	1	0	1	734	118,297	
			(400)		(400)														
H4	18	2	21	21,478	17	2	20	1	0	1	0	0	0	0	0	0	685	118,139	
			(360)		(360)														
H5	15	2	17	19,604	14	2	16	1	0	1	0	0	0	0	0	0	570	112,713	
			(433)		(433)														
H6	11	2	13	15,429	11	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	482	105,473	
H7	11	0	12	17,410	11	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	485	118,277	
H8	15	2	17	24,069	14	2	16	1	0	1	0	0	0	0	0	0	464	126,627	
H9	19	2	21	31,935	16	2	18	0	0	0	0	0	0	3	0	3	328	94,502	
H10	31	2	32	54,568	29	1	30	0	0	0	0	0	0	2	1	3	356	104,688	
H11	33	0	33	80,671	30	0	30	0	0	0	0	0	0	3	0	3	288	81,458	
H12	14	1	15	49,532	14	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	329	95,481	
H13	17	0	17	59,592	17	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314	88,504	
H14	22	0	22	58,052	22	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	282	75,179	
H15	20	1	21	61,370	19	1	20	0	0	0	0	0	0	1	0	1	327	96,465	
H16	17	2	19	40,029	17	2	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	343	139,887	
H17	16	4	20	27,804	16	4	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	335	92,606	
H18	13	3	16	17,291	13	3	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	341	91,913	
H19	16	2	18	31,845	14	2	16	0	0	0	0	0	0	1	0	1	363	95,855	
H20	24	2	26	36,231	19	2	21	0	0	0	0	0	0	5	0	5	413	115,019	
H21	13	2	15	14,542	12	2	14	0	0	0	0	0	0	1	0	1	426	117,645	
H22	7	2	9	15,213	7	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	369	97,850	
H23	11	3	14	21,296	9	3	13	0	0	0	0	0	0	1	0	1	389	118,134	
H24	8	2	10	15,539	8	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	355	104,288	
H25	17	1	18	35,721	17	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	271	78,098	
H26	14	0	14	29,142	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	305	104,402	
H27	8	0	8	20,286	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	304	111,114	
H28	13	0	13	32,407	13	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	287	110,028	
H29	15	0	15	35,000	13	0	13	0	0	0	0	0	0	2	0	2	227	89,670	
H30	10	0	10	24,759	8	0	8	0	0	0	0	0	0	2	0	2	222	89,473	
R1	11	0	11	39,887	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	204	127,812	
計	2,507	918	3,426	2,199,078	2,071	615	2,688	365	231	595	12	61	73	59	10	69	21,822	4,426,946	
			(16,850)		(15,610)					(1,240)									

- 1 ( )書きは造林作業路及び路網整備を含む。
- 2 単位未満四捨五入のため、総計(計)と内訳が一致しないものがある。
- 3 県営林は含まない。

(単位 面積：ha (延長：m) 補助金：千円)

区分	育成複層林整備						特殊林地改良		その他森林整備等		路網整備		合計	
	樹下植栽等		保育		改良		面積	補助額	面積	補助額	延長(m)	補助額	面積	補助額
	面積	補助額	面積	補助額	面積	補助額								
S47	0	0	0	0	33	1,021	13	2,203	0	0	0	0	662	49,313
S48	0	0	0	0	31	1,628	22	4,781	0	0	0	0	627	57,278
S49	0	0	0	0	37	2,220	16	4,705	0	0	0	0	566	53,310
S50	0	0	0	0	105	7,006	18	5,611	0	0	0	0	522	66,259
S51	0	0	0	0	97	7,211	20	6,834	0	0	0	0	572	90,372
S52	0	0	0	0	214	17,614	19	7,227	0	0	0	0	640	94,135
S53	0	0	0	0	518	50,503	20	8,030	0	0	0	0	980	143,583
S54	0	0	0	0	705 (1,120)	90,923	13	7,281	0	0	0	0	1,350 (4,647)	237,741
S55	0	0	0	0	462 (700)	62,649	0	0	0	0	0	0	1,293 (2,797)	236,657
S56	0	0	0	0	381 (410)	54,275	0	0	0	0	0	0	1,152 (1,330)	227,764
S57	0	0	0	0	383	50,956	0	0	0	0	0	0	1,255 (1,180)	237,592
S58	0	0	0	0	432 (840)	60,028	0	0	0	0	0	0	1,310 (1,215)	238,499
S59	0	0	0	0	368	52,196	0	0	0	0	0	0	1,170 (1,503)	238,879
S60	0	0	0	0	353	50,302	0	0	0	0	0	0	1,221 (2,063)	240,391
S61	2	2,518	0	0	405	57,989	0	0	0	0	0	0	1,372 (1,169)	254,634
S62	12	1,160	0	0	454	65,473	0	0	0	0	0	0	1,460 (553)	275,940
S63	19	11,687	2	192	493	70,986	0	0	0	0	0	0	1,504 (987)	292,641
H1	39	32,228	17	2,146	549	79,852	0	0	0	0	0	0	1,631 (885)	317,541
H2	79	52,332	59	8,142	635	95,489	0	0	0	0	0	0	1,672 (398)	327,725
H3	104	70,001	122	18,050	600	96,519	0	0	0	0	0	0	1,595 (400)	333,736
H4	93	66,499	243	37,737	618	105,720	0	0	2	15,068	0	0	1,662 (360)	364,641
H5	78	63,629	361	63,046	543	105,781	0	0	2	14,792	17,731	17,731	1,571 (1,077)	397,296
H6	67	59,267	430	83,608	501	107,994	0	0	5	26,792	21,698	21,698	1,499 (1,597)	420,195
H7	65	62,105	602	129,963	470	110,339	0	0	2	27,949	22,611	22,611	1,636 (1,704)	488,652
H8	72	84,835	541	130,077	263	71,731	0	0	3	51,905	11,457	11,457	1,360 (2,238)	500,699
H9	43	48,639	625	167,587	275	84,148	0	0	146	59,426	35,798	35,798	1,438 (2,994)	522,035
H10	64	76,662	906	241,990	318	99,671	0	0	93	53,833	24,191	24,191	1,770 (1,452)	655,603
H11	45	25,397	807	215,060	254	77,862	0	0	69	26,295	29,755	29,755	1,496 (1,836)	536,498
H12	43	24,168	828	220,827	148	44,131	0	0	50	28,007	3,502	3,502	1,413 (0)	465,648
H13	32	19,294	654	171,163	130	40,260	0	0	40	11,869	5,158	5,158	1,187 (463)	395,840
H14	22	12,705	549	113,066	119	43,367	0	0	39	22,952	16,904	16,904	1,033 (582)	342,225
H15	38	27,239	499	107,283	92	37,247	0	0	116	20,148	44,846	44,846	1,093 (2,845)	394,598
H16	29	18,381	527	109,743	142	57,151	0	0	29	21,709	19,293	19,293	1,088 (7,917)	406,193
H17	23	14,708	438	87,593	142	60,756	0	0	36	54,718	0	0	994	338,185
H18	29	18,235	396	80,635	195	76,780	0	0	74	37,251	0	0	1,051	322,105
H19	20	35,042	369	64,630	190	65,105	0	0	241	27,709	0	0	1,200	320,186
H20	46	26,354	421	71,740	111	35,589	0	0	100	18,797	0	0	1,117	303,730
H21	46	26,135	372	62,337	99	31,995	0	0	83	18,049	0	0	1,041	270,703
H22	58	37,623	361	64,685	121	39,245	0	0	140	3,385	0	0	1,058	258,001
H23	22	29,047	373	84,255	88	31,152	0	0	0	0	0	0	886	283,883
H24	20	28,217	298	57,229	97	34,370	0	0	0	0	0	0	779	239,642
H25	38	60,834	395	106,543	130	52,589	0	0	0	0	0	0	852	333,786
H26	22	37,572	364	98,990	67	30,090	0	0	0	0	0	0	772	300,195
H27	16	31,353	338	94,403	17	7,987	0	0	0	0	0	0	684	265,143
H28	14	30,144	312	87,193	36	17,746	0	0	0	0	0	0	661	277,518
H29	14	29,908	300	95,848	30	14,931	0	0	0	0	0	0	586	265,357
H30	14	34,750	275	87,574	1	648	0	0	0	0	0	0	522	237,204
R1	11	39,511	252	117,994	0	0	0	0	0	0	0	0	478	325,204
計	1,339	1,238,179	13,036	3,081,328	12,451 (3,070)	2,459,224	141	46,672	1,270	540,654	0	252,944	53,481 (44,192)	14,244,956



# 5. 林 道

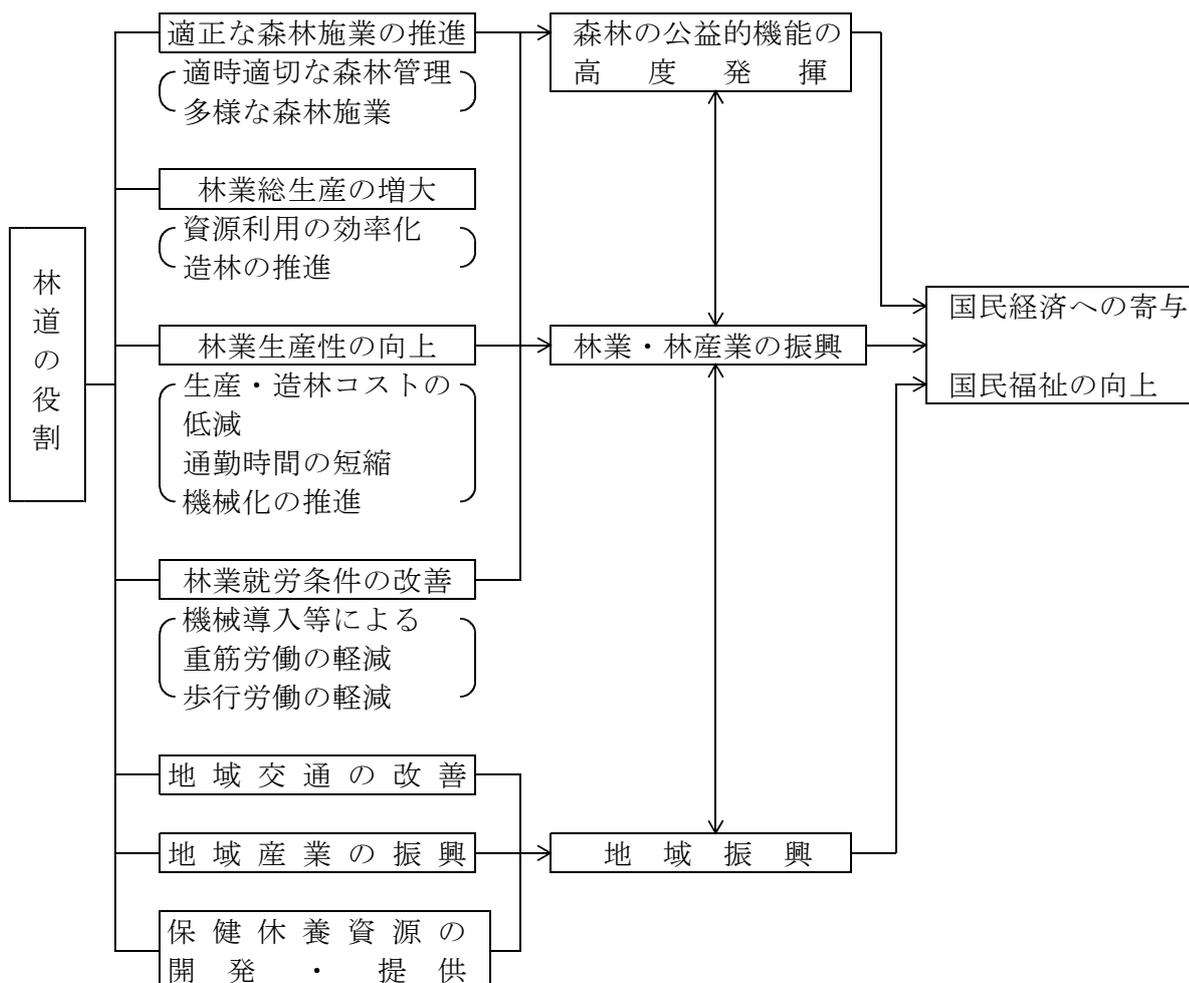
## 5-1 林道事業の概要

林道は、木材搬出などの林業経営の合理化及び森林の公益的機能の高度発揮を目的とした集約的な森林管理のための施設としての役割のみならず、山村地域の生活道や災害時の避難路・迂回路として、また都市住民の森林レクリエーション活動にも利用されるなど、県民生活に密接に結びついている。

本県では、主として、森林地帯である沖縄本島北部、南部の離島及び八重山地域で林道の整備を進めている。事業内容は、林道の新設、改築を目的とした開設事業、既設林道の輸送機能の向上や安全の確保、自然環境の保全を目的とした改良事業及び舗装事業があり、県・市町村が事業主体となっている。

本県の令和2年4月現在の林道延長は 300.3km で、林道密度は 4.0m/ha となっている。これは、全国平均(4.9m/ha)の 82 %である。

一方、林道舗装率(林道延長に占める舗装された林道部分の率)は、全国平均が 47.9 %であるのに対し、本県は 93.2 %で、全国でもっとも高い水準にある。



## 5-2 市町村別林道の現況

令和2年4月現在（単位：km）

市 町 村	管理主体	路線数	W=3.0m 以上	W=4.0m 以上	W=5.0m 以上	計
国 頭 村	県	17.5	2.0	54.2	34.7	91.0
	村	13	1.0	37.1	1.0	39.1
	計	30.5	2.9	91.3	35.8	130.1
大 宜 味 村	県	0.5			15.4	15.4
	村	4	1.4	9.1		10.5
	計	4.5	1.4	9.1	15.4	25.8
名 護 市	県	2		20.5		20.5
	市	13	4.3	37.4		41.7
	計	15	4.3	57.9		62.2
今 帰 仁 村	村	5		11.8		11.8
本 部 町	町	2		4.6		4.6
恩 納 村	県	3		1.0	3.2	4.1
	村	2		3.9		3.9
	計	5		4.9	3.2	8.1
伊 平 屋 村	村	1		4.0		4.0
北 部 計	県	23	2.0	75.7	53.3	131.0
	市町村	40	6.6	107.9	1.0	115.6
	計	63	8.6	183.7	54.3	246.6
渡 嘉 敷 村	村	3		10.8		10.8
座 間 味 村	村	3		11.1		11.1
久 米 島 町	町	1		1.3		1.3
渡 名 喜 村	村	1		2.9		2.9
中 南 部 計	町村	8		26.1		26.1
石 垣 市	市	7		21.3	1.6	22.9
与 那 国 町	町	2		4.7		4.7
宮古・八重山計	市町	9		26.0	1.6	27.6
県 計	県	23	2.0	75.7	53.3	131.0
	市町村	57	6.6	160.0	2.6	169.3
	計	80	8.6	235.8	55.9	300.3

- 注) 1 数字は単位未満四捨五入のため、内訳と計は必ずしも一致しない。  
 2 市町村道等へ移管されたものは含まない。  
 3 県営大國線は国頭村と大宜味村を通過するため、両村に0.5路線として計上した。  
 4 東村に存する県営源河有銘線の2.0km分は、名護市に計上した。  
 5 Wは、車道幅員を指す。



## 5 - 4 林道補助事業一覧表

区分	負担区分			採択基準			事業主体	備考
	国	県	事業主体	利用区域 森林面積	全体計画 延	林業効果 指数		
開設事業	8/10	1/10	1/10	30ha以上	0.8km 以上	0.9以上	県 市 町 村 森林 組合 等	左記の採択基準によるほか、次の条件等を満たしていること。 1. 地域森林計画に記載された林道であること。 2. 林道規程に規定する自動車道であること。 3. 利用区域内森林面積に対し延べ面積10パーセント以上に相当する森林において、 森林の整備が計画されていること。 左記の採択基準によるほか、次の条件等を満たしていること。 1. 地域森林計画に記載された林道であること。 2. 林道規程に規定する自動車道3級であること。
	8/10	1/10	1/10	10ha以上	0.2km 以上	0.9以上		
改良事業	5/10	2/10	3/10	500ha以上 (過疎地域は 200ha以上)	-	1.2以上		左記の採択基準によるほか、次の条件等を満たしていること。 1. 地域森林計画に記載された林道であること。 2. 林道規程に規定する自動車道の改良であること。 3. 1箇所の事業費が900万円以上であること。 4. 補助対象となる改良内容 ア. 橋りょう改良 イ. 局部改良 ウ. 作業ポイント エ. 接続路 オ. 雪害防止 カ. ずい道 キ. 幅員拡張 ク. のり面保全 ケ. 山火事防止 コ. ふれあい施設 サ. 交通安全施設 シ. 災害避難施設 ス. 林道情報伝達施設 セ. 自然共生施設 ソ. 舗装
	3/10 (舗装は1/3)	4/10 (11/30)	3/10	50ha以上 (過疎地域は 30ha以上)	-	0.9以上		

注) 林業効果指数は、次式より算出

$$\text{林業効果指数} = \frac{V}{50(25) \times F_1 + 15 \times F_2} + \frac{F_3 + F_4}{F_1 + F_2}$$

V : 当該林道に係る森林(国有林を除く)の蓄積(単位: m<sup>3</sup>)

F 1 : 当該林道に係る針葉樹の森林(国有林を除く)の利用区域面積(単位: ha)

F 2 : 当該林道に係る広葉樹の森林(国有林を除く)の利用区域面積(単位: ha)

F 3 : 当該林道に係る森林(国有林を除き、人工植栽に係る森林以外の森林であって人工造林を予定しているものに限る。)の利用区域面積(単位: ha)

F 4 : 当該林道に係る森林(国有林を除き、人工植栽に係る森林であってその林齢が15年以下のものに限る。)の利用区域面積(単位: ha)

(25) : 改良事業で実施する場合

## 5 - 5 林道施設災害復旧事業実績

年度	区分	路線数	箇所数	被害延長(m)	経費(千円)	国庫補助(千円)	備考
平成22年度	奥地	6	13	261	38,251	23,857	H23繰越, 分割補助分含む
	その他	6	11	377	115,913	89,843	
	計	12	24	638	154,164	113,700	
	事務費	-	-	-	4,306	2,241	
合計	12	24	638	158,470	115,941		
平成23年度	奥地	5	21	438	62,156	52,709	H24繰越分含む
	その他	8	14	456	103,726	74,906	
	計	13	35	894	165,882	127,615	
	事務費	-	-	-	3,423	1,200	
合計	13	35	894	169,305	128,815		
平成24年度	奥地	5	17	371	64,150	53,099	H25繰越, 分割補助分含む
	その他	11	13	448	73,034	49,882	
	計	16	30	819	137,184	102,981	
	事務費	-	-	-	1,631	800	
合計	16	30	819	138,815	103,781		
平成25年度	奥地	1	1	32	16,932	14,578	
	その他	0	0	0	0	0	
	計	1	1	32	16,932	14,578	
	事務費	-	-	-	0	0	
合計	1	1	32	16,932	14,578		
平成26年度	奥地	5	14	302	107,803	88,254	H27繰越分含む
	その他	12	17	509	290,329	201,906	
	計	17	31	811	398,132	290,160	
	事務費	-	-	-	1,489	650	
合計	17	31	811	399,621	290,810		
平成27年度	奥地	3	3	99	10,369	7,225	H28繰越分含む
	その他	2	3	105	29,672	24,595	
	計	5	6	204	40,041	31,820	
	事務費	-	-	-	546	250	
合計	5	6	204	40,587	32,070		
平成28年度	奥地	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	
	事務費	-	-	-	-	-	
合計	-	-	-	-	-		
平成29年度	奥地	2	2	51	10,107	8,638	分割補助分含む
	その他	1	1	20	1,973	986	
	計	3	3	71	12,080	9,624	
	事務費	-	-	-	-	-	
合計	3	3	71	12,080	9,624		
平成30年度	奥地	2	6	136	37,401	31,316	R1繰越, 分割補助分含む
	その他	3	6	159	12,827	8,617	
	計	5	12	295	50,228	39,933	
	事務費	-	-	-	-	-	
合計	5	12	295	50,228	39,933		
令和元年度	奥地	3	6	83	16,280	12,861	R2繰越, 分割補助分含む
	その他	5	6	103	15,199	10,104	
	計	8	12	186	31,479	22,965	
	事務費	-	-	-	-	-	
合計	8	12	186	31,479	22,965		

## 6. 治 山

### 6-1 治山事業の概要

治山事業は、森林の造成を通じて山地災害や潮風害から県民の生命、財産を保全し、また、水源のかん養や生活環境の保全、形成を図ることを目的としている。

具体的には、森林法第25条第1項から第7号の保安林の目的を達成するために行われる森林の造成及び森林の維持・造成に必要な施設の整備を実施している。

### 6-2 治山事業の実績

令和元年度 実績（平成30年度の繰越完了分及び令和元年度完了分）（単位：千円）

事業名	地区数	工事費	地区名	主な工種
復旧治山	1	23,321	南城市安座真	吹付法枠工、排水工
緊急予防治山	3	190,122	渡嘉敷村渡嘉敷、南城市志喜屋	落石防護網工、法面保護工
防災林造成	4	107,191	伊是名村勢理客、久米島町大原ほか	植栽工、防風工
保安林緊急改良	2	47,626	伊是名村内花、宮古島市佐和田	植栽工、防風工
水源の里保全緊急整備	1	53,445	座間味村座間味	仮設工
保育	9	31,354	うるま市、南大東村、多良間村ほか	下刈、施肥、補植
予防治山	1	62,017	名護市世富慶	高エネルギー吸収柵工
機能強化・老朽化対策	1	50,475	沖縄県全域	個別施設計画施設調査一式
漁場保全の森づくり	1	5,702	宮古島市比嘉	植栽工、防風工
林地荒廃防止施設等災害復旧	1	71,457	南城市安座真	抑止杭、抑制工、山腹緑化工
<b>合計</b>	<b>24</b>	<b>642,710</b>		

#### 【施工事例】

- 復旧治山：荒廃山地の復旧整備を行う事業。
- 緊急予防治山、予防治山：山地災害の防止のために行う荒廃危険山地の崩壊等を防止する事業。
- 防災林造成：台風、強風、波浪等により失われた保安林の機能を維持強化するための森林を造成する事業。

【安座真復旧治山（南城市）】



吹付法枠工、植栽工

【志喜屋緊急予防治山（南城市）】



法面保護工

【世富慶予防治山（名護市）】



高エネルギー吸収柵工

【勢理客防災林造成（伊是名村）】



植栽工、防風工

## 7. 保安林

### 7-1 保安林の概要

本県は広大な海域に多くの島々が点在し、地理的特性から台風や季節風による被害を受けやすい環境下にあるため、保安林の果たす役割は重要である。

保安林指定面積は30,579haで、本県の森林の約3割にあたる。そのうち水源かん養保安林は23,084ha(76%)、潮害防備保安林は3,718ha(12%)となっている。また、災害防止のため土砂流出及び土砂崩壊保安林は1,453ha(5%)である。

近年、森林の有する公益的機能を期待する社会的要請に応えるため、4,110ha(13%)の保健保安林が指定されており、県民の憩いの場となっている。

### 7-2 保安林の現状

令和2年3月31日現在 単位：ha

種別 区分	水源 かん養 保安林	土砂流 出防備 保安林	土砂崩 壊防備 保安林	防風 保安林	水害 防備 保安林	潮害 防備 保安林	干害 防備 保安林	落石 防止 保安林	魚つき 保安林	航行 目標 保安林	保健 保安林	風致 保安林	計
国有林	16,383		635	68		(13) 259					(3,198) 303		(3,211) 17,648
民有林	6,701	645	173	718	1	3,459	(8) 721	(0) 1	4	9	(912) 83	(36) 409	(956) 12,925
計	23,084	645	808	787	1	(13) 3,718	(8) 721	(0) 1	4	9	(4,110) 386	(36) 409	(4,167) 30,573

( )書きは上位の保安林種との兼種指定を外書きで示した。  
単位未満四捨五入のため、計と内訳は必ずしも一致しない。

### 7-3 保安林指定施業要件伐採種別

令和2年3月31日現在 単位：ha

種別 区分	水 源 かん養 保安林	土砂流 出防備 保安林	土砂崩 壊防備 保安林	防 風 保安林	水 害 防 備 保安林	潮 害 防 備 保安林	干 害 防 備 保安林	落 石 防 止 保安林	魚つき 保安林	航 行 目 標 保安林	保 健 保安林	風 致 保安林	民 有 保安林	国 有 保安林
禁 伐												(26)	(26)	(13)
	155	12	64	44	1	1,285	27					340	1,928	2,103
択 伐							(8)	(0)			(615)	(10)	(633)	(3,198)
	1,019	507	109	674		2,175	260	1	4	9	55	69	4,882	8,458
皆 伐											(297)		(297)	
	5,527	126	0				435				28		6,116	7,087
計	6,701	645	173	718	1	3,459	721	(8)	(0)		(912)	(36)	(956)	(3,211)
	6,701	645	173	718	1	3,459	721	1	4	9	83	409	12,925	17,648

( )書きは上位の保安林種との兼種指定を外書きで示した。  
保安林種別の面積は、民有保安林の内訳である。

## 7 - 4 市町村別・民有保安林面積

令和2年3月31日現在 単位：ha

NO	市町村	水かん	土流	土崩	防風	水害	潮害	干害	落石	魚つき	航行	保健	風致	計
1	国頭村	588	202	92	30		47							959
2	大宜味村	1,132		7	12		1						2	1,154
3	東村	176	19	19	9		1	0						224
4	今帰仁村		80		20		53	73				(65)		226 (65)
5	本部町	16		0	31		28	10				21	0	106
6	名護市	1,347	21	9	28		36	13		4		(199)	3	1,462 (199)
7	恩納村	352		7	4	0	82	145				(164)		590 (164)
8	宜野座村	2			13	1	11							27
9	金武町	53			12		11					(1)		76
10	伊江村			3	11		31					(8)		45 (8)
11	伊平屋村	153		9	2		44							208
12	伊是名村			0	15		61	110				(61)		186 (61)
	北部計	3,819	322	146	187	1	406	351		4		21 (498)	5	5,262 (498)
13	うるま市		20	0	46		105							171
14	沖縄市						4							4
15	北谷町													0
16	読谷村				1		23							24
17	嘉手納町	0	2		0									2
18	北中城村						1							1
19	中城村		1	1			5							7
20	宜野湾市													0
21	西原町													0
22	浦添市													0
23	那覇市							1					4	5
24	豊見城市						2							2
25	糸満市				3		65							68
26	八重瀬町	1					11							12
27	南城市			21			26		0 (0)					47

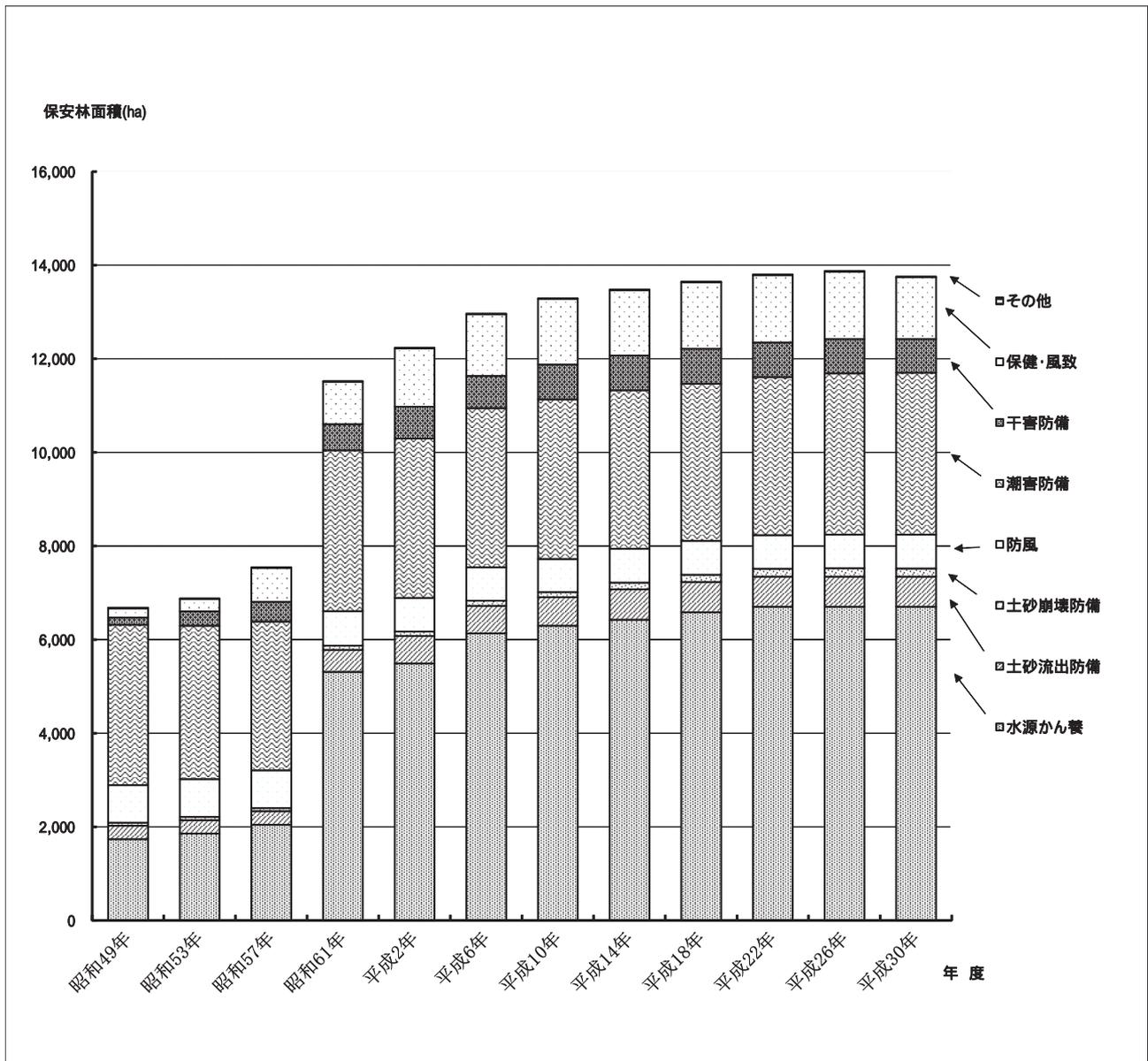
N0	市町村	水かん	土流	土崩	防風	水害	潮害	干害	落石	魚つき	航行	保健	風致	計
28	与那原町													0
29	南風原町			0										0
30	久米島町	570	44		81		130	35						860
31	渡嘉敷村	209	25	4			7	37	1			28 (33)	8	319 (33)
32	座間味村	44		1			86	130			9	23 (10)	64 (10)	357 (20)
33	栗国村				9		12							21
34	渡名喜村						5							5
35	南大東村						621							621
36	北大東村						318					(7)		318 (7)
	中南部計	824	92	27	140	0	1,421	203 (0)	1 (0)	0	9	51 50	76 10	2,843 (60)
	流域計	4,643	414	173	326	1	1,826	554 (0)	1 (0)	4	9	72 (548)	81 (10)	8,105 (558)
37	宮古島市				341		633	136 (8)				11 (218)		1,121 (226)
38	多良間村				5		290							295
	宮古計				346		923	136 (8)				11 (218)		1,416 (226)
39	石垣市	2,033	231		12		292					(107)	328 (26)	2,896 (133)
40	竹富町				7		378	15				(13)		400 (13)
41	与那国町	25			27		40	16				(26)		108 (26)
	八重山計	2,058	231		46		709	31				(146)	328 (26)	3,404 (172)
	流域計	2,058	231		392		1,632	167 (8)				11 (364)	328 (26)	4,819 (398)
	県計	6,701	645	173	718	1	13,459	721 (8)	1 (0)	4	9	83 (912)	409 (36)	12,925 (956)

( ) 書きは上位の保安林種との兼種指定を外書きで示した。

保安林種別の面積は、民有保安林の内訳である。

単位未満四捨五入のため、計と内訳は必ずしも一致しない。

## 7 - 5 民有保安林指定状況（延面積）



## 8. 林地開発許可制度

### 8-1 林地開発許可制度の趣旨

森林は、災害の防止、水源の涵養、環境の保全等の公益的機能や木材生産等の経済的機能を有している。特に近年の社会経済情勢の変化に伴い、森林の有する自然環境の保全及び形成等公益的機能の発揮に対する要請が一段と高まっている。

一方では、社会情勢の変化が国土の開発を招き、その進展は都市近郊から農山村へと広範囲に及ぶようになった。

森林法においては、従来より、保安林制度によって特に公益的機能の要請が高い森林の保全及び形成に努めてきたところであるが、それ以外の森林においては、法的規制措置が講じられていなかったことから、無秩序な開発行為が行われ、各地域において災害のおそれや環境の破壊等の問題が指摘されるようになった。

このようなことに対処するため、昭和 49 年に森林法が改正され「民有林における開発行為の許可制」が導入され、国民の要請に応えることになった。

本県の林地開発許可の状況は、目的別で見ると、件数では農用地の造成、面積ではゴルフ場設置の占める割合が大きい（表 8-2）。また、連絡調整（協議）の状況は、件数では道路の新設又は改築、面積では農用地の造成の占める割合が大きい（表 8-3）。

なお、近年の許可及び協議の状況は年間 10 件程度で推移しており、令和元年度の許可及び協議の実績（変更を含む）は、許可が 3 件、協議が 3 件の計 6 件となっている。その内訳として、許可については、レジャー施設の設置 1 件、レジャー施設の設置に係る変更許可 1 件、工場・事業場用地の造成に係る変更許可 1 件である。また、協議については、工場・事業場用地の造成 3 件である。

## 8-2 林地開発許可状況

(単位 件数：件、面積：ha)

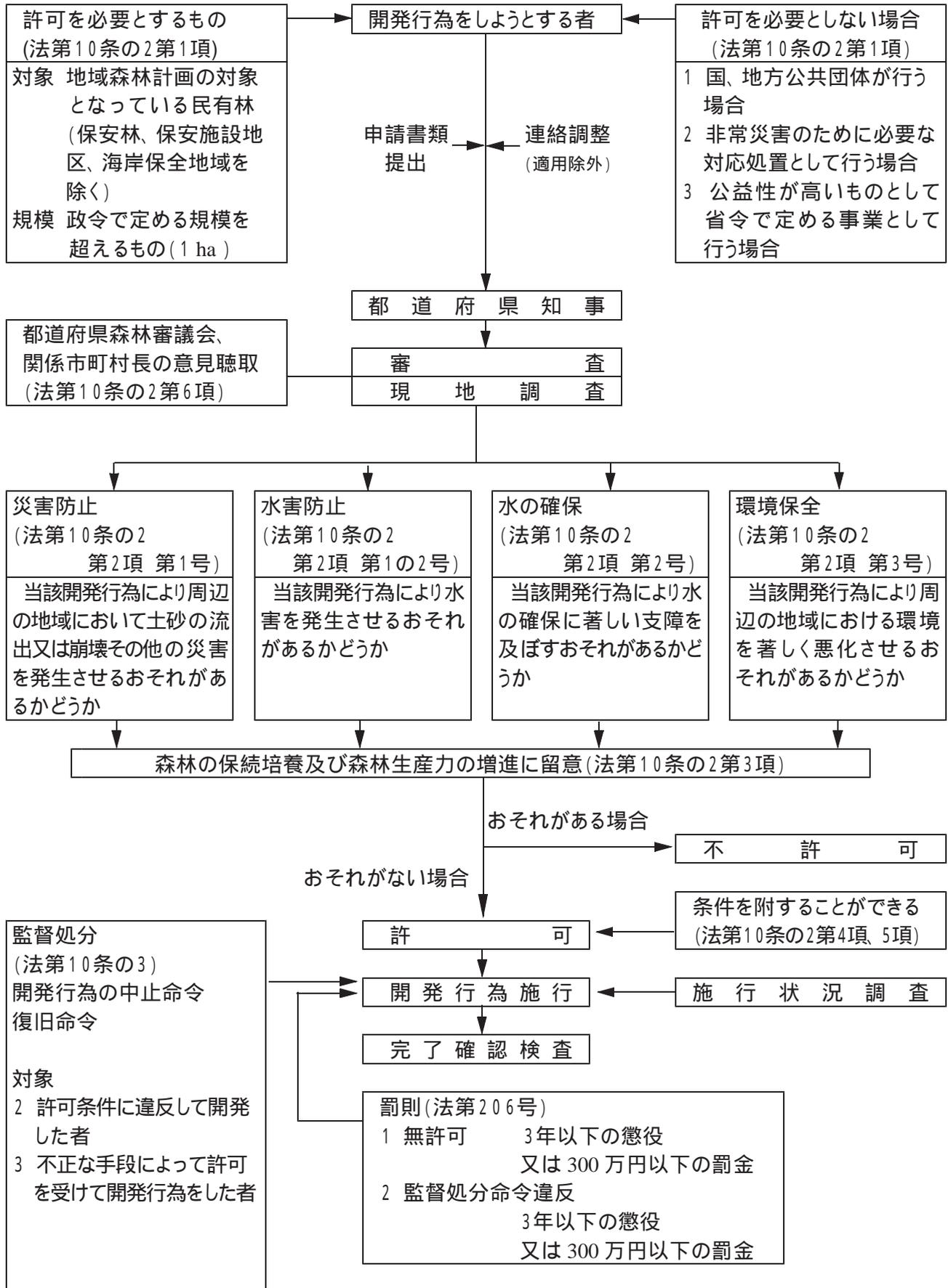
区分	S50~H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1		合計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
工場・事業場 用地の造成	21	86	2	2	3	4	2	10	4	9	1	0	1	5	34	116
住宅用地の 造成	16	59	1	10	1	4	1	2	1	0					20	75
別荘地の造成	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-					1	2
ゴルフ場の 設置	38	634	2	-29	1	7	-	-	1	0	1	4			43	616
レジャー施設 の設置	33	103	1	6	3	4	3	0	3	3	3	-3	2	2	48	115
農用地の造成	109	411	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5			110	416
土石の採掘	13	37	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5			14	42
道路の新設 又は改築	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					0	0
その他	18	63	-	-	-	-	-	-	-	-					18	63
計	249	1,395	6	-11	8	19	6	13	9	13	7	11	3	6	288	1,445

## 8-3 連絡調整状況（協議）

(単位 件数：件、面積：ha)

区分	S50~H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1		合計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
工場・事業場 用地の造成	8	25	1	2	-	-	1	5	3	5	2	3	3	14	18	54
学校・博物館 用地の造成	7	27	-	-	-	-	-	-	-	-					7	27
住宅用地 の造成	10	25	-	-	-	-	-	-	1	2					11	27
公園・運動場 等の造成	9	58	2	5	-	-	1	2	-	-					12	65
農用地の造成	105	590	1	7	2	8	-	-	1	2					109	607
土石の採掘	4	13	-	-	-	-	-	-	-	-					4	13
道路の新設 又は改築	186	271	-	-	1	3	1	2	-	-	1	4			189	279
ダム等の設置	20	257	-	-	-	-	-	-	-	-					20	257
その他	33	141	-	-	-	-	-	-	-	-					33	141
計	382	1,407	4	14	3	11	3	8	5	9	3	7	3	14	403	1,470

## 8 - 4 林地開発許可制度の体系図



## 9 . 森林保護

### 9 - 1 森林病虫害

#### (1) 森林病虫害等防除事業の現況

本県は、温暖な気候条件から多種・多様な昆虫が生息し、森林病虫害が発生しやすい環境にある。主な森林病虫害は、リュウキュウマツに重大な被害を与えている松くい虫、イヌマキの葉を食害し枯死させるキオビエダシャク等があげられる。

このうち松くい虫被害の発生は、昭和48年に沖縄本島東村平良から名護市久志に渡る範囲で、松枯損木からマツノザイセンチュウが発見されたのが最初である。

昭和55年には、干ばつや台風の影響もあって被害区域は本島全域に広がり、昭和57年度は、約7千 $\text{m}^3$ の被害を記録した。このため、特別防除（薬剤空中散布）、薬剤地上散布、特別伐倒駆除（焼却及び破碎処理）や伐倒駆除（くん蒸処理）の防除措置を徹底的に実施したことから、被害は激減し一旦沈静化した。平成2年から被害は再び増加し、平成5年度には本島北部を中心に約2千 $\text{m}^3$ と激増した。このような中、県では国道58号東側の重点地域を中心に徹底した防除対策を実施した結果、平成6年から被害は減少に転じた。

しかしながら、平成12年から再び被害拡大の兆候がみられたことから、県では被害のまん延防止を図るため、松くい虫防除に関する必要な措置及び松林所有者等の責務等を定めた「沖縄県松くい虫の防除に関する条例」を平成14年に制定した。また、同条例に基づき、松くい虫の防除に関する総合的な施策として「松くい虫ゼロ大作戦（平成14～18年度）」を策定し、国、米軍、市町村、及び関係機関等と連携して防除対策に取り組んだ。

「松くい虫ゼロ大作戦」では、当初、広域・全量駆除を目指し防除対策を展開してきたが、平成5年度の被害量は高温少雨の異常気象の影響を受け約4千 $\text{m}^3$ とピークを迎えた。このため、平成16年からはより効果的な防除対策を図るため、公益的機能の高い松林を中心に重点的な防除対策を実施し、その結果、国頭村、東村及び大宜味村においては被害が沈静化するなど一定の防除効果が現れており、平成6年度の県全体の被害量は約2千 $\text{m}^3$ に減少した。しかし、平成27年度は降水量が少なく、本部半島を中心に激甚な被害が発生し、周辺地域への被害拡大が確認されたこともあり、被害量は約5千 $\text{m}^3$ にまで増加した。平成8年以降被害量は、再び減少に転じ、令和元年度は約00 $\text{m}^3$ まで減少した。

今後の松くい虫防除対策については、保全すべき松林を中心とした重点的な防除対策を実施するとともに、天敵昆虫を利用した防除技術及び抵抗性マツ等の研究を推進し、その成果を取り入れた総合的な松くい虫の防除対策に取り組んでいく。

キオビエダシャク被害については、従来から八重山地域を中心に発生しており、昭和54年には、八重山地域、久米島及び座間味島で大発生するなど、貴重な樹種であるイヌマキに対し大きな被害を与えている。被害は八重山地域を中心に毎年発生しており、被害の発生期には薬剤散布による駆除を実施している。

また、県花であるデイゴに被害を及ぼすデイゴヒメコバチは、平成17年に石垣島で発見されて以来、その被害は県全域に広がっている。県では、平成22年から市町村が管理するデイゴや由緒ある名木、地域で保全が求められているデイゴ等について、薬剤樹幹注入に

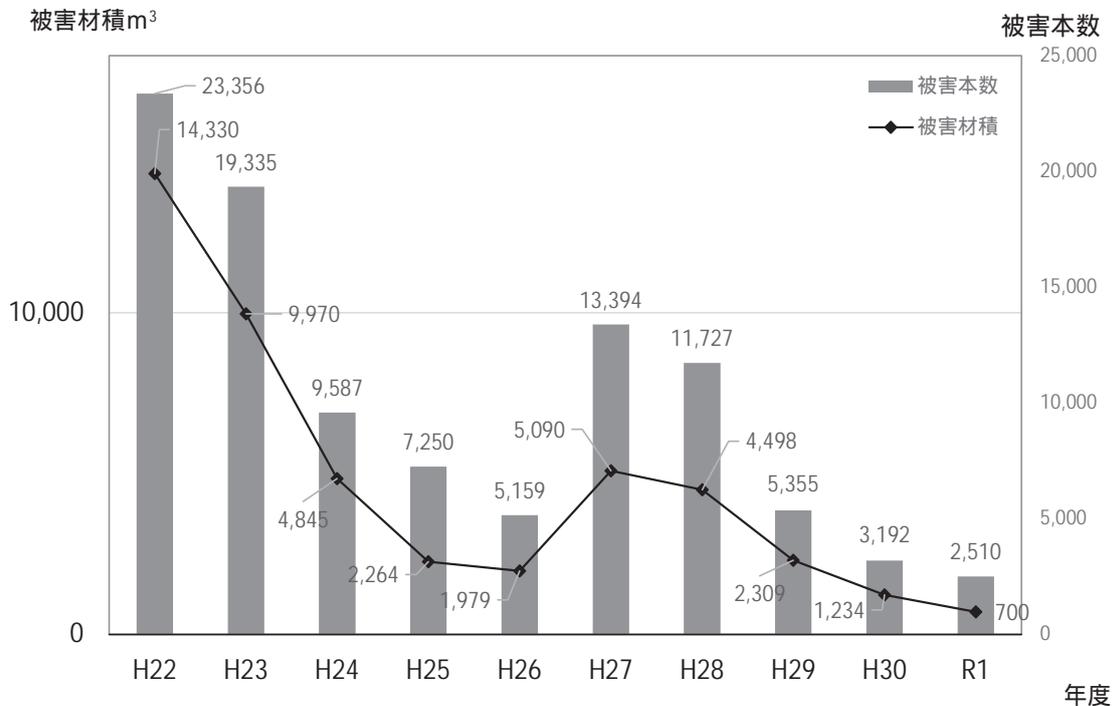
よる防除を行っている。

## (2) 森林病虫害防除実績（民間地域）

年度 平成	単位	平成	令和								
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
松くい虫 伐倒駆除	m <sup>3</sup>	3,226	2,416	2,156	1,417	1,123	1,262	964	744	571	326
（全木焼却）	m <sup>3</sup>	2,518	1,355	1,740	1,085	978	1,001	729	582	434	305
（くん蒸）	m <sup>3</sup>	708	1,061	416	332	145	261	235	162	137	21
（破碎）	m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松薬剤地上散布	ha	133	136	123	123	123	86	66	60	59	59
松樹幹注入	本	2,324	1,878	1,471	2,589	1,816	1,507	2,272	1,600	1,022	1,142
キシロキエグザクタ駆除	ha	135	106	77	60	59	16	14	-	10	-
松の漏脂胴枯病駆除	m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
デイゴヒメコバチ防除	本	628	742	647	883	1,091	1,240	1,154			

平成29年度からデイゴヒメコバチ防除については環境部環境再生課へ移管した。

## (3) 松くい虫被害量の推移（民間地域）



令和元年度版からは被害本数も表記することとした。

## 9 - 2 森林保険

### (1) 森林保険の概要

森林保険は造林地の火災、気象災及び噴火災による損害をてん補する制度で、平成 26 年度までは、国営の保険（森林国営保険）であったが、「森林国営保険法等の一部を改正する法律」の成立により、平成 27 年 4 月 1 日から森林総合研究所に移管された。それに伴い、県の保険事務も沖縄県森林組合連合会に移管された。

沖縄県においては、沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律（昭和 46 年法律第 129 号）第 117 条の規定により、制度導入にあたって 3 カ年の事前調査期間を経て、昭和 50 年 5 月 15 日から適用された。当保険の加入造林地は、市町村有林が主である。

損害てん補については、平成 14 年度までは殆ど発生していなかったが、平成 15 年 9 月の台風 14 号（最大瞬間風速 74.1m/s を記録）による宮古島地域での未曾有の被害に対して、平成 15 年度には約 29,000 千円、平成 16 年度には約 49,000 千円の保険金が支払われた。

### (2) 森林保険事業実績（平成26年度までは森林国営保険）

事業区分 （年度）	契 約 加 入			損 害 て ん 補		
	件数（件）	面積（ha）	保険料 （千円）	件数（件）	面積（ha）	保険金 （千円）
昭和56年度～平成4年度	166	5390.35	32,578	0	0	0
5	9	403.61	2,267	-	-	-
6	11	408.78	2,376	-	-	-
7	9	337.52	2,221	-	-	-
8	8	356.67	2,264	-	-	-
9	6	386.14	2,385	-	-	-
10	6	472.12	2,343	-	-	-
11	12	470.11	2,136	3	0.52	307
12	11	536.69	2,314	-	-	-
13	11	511.31	2,106	-	-	-
14	9	531.69	1,760	-	-	-
15	13	546.08	1,673	4	38.74	29182
16	12	532.19	1,517	6	110.71	49,465
17	12	538.44	1,410	1	0.49	310
18	9	543.88	1,317	-	-	-
19	7	556.35	1,291	1	0.94	630
20	7	554.52	1,386	-	-	-
21	8	575.24	1,436	-	-	-
22	7	638.26	1,431	3	1.25	417
23	6	643.47	1,330	-	-	-
24	6	645.1	1,330	-	-	-
25	6	585.90	1,277	-	-	-
26	6	621.57	1,390	-	-	-
27	6	613.84	1,365	-	-	-
28	6	475.35	958	-	-	-
29	5	475.54	1,016	-	-	-
30	6	455.81	960	-	-	-
令和元年度	6	454.58	1,044	-	-	-

平成 27 年度からは沖縄県森林組合連合会からの報告による



## 10-2 事業別・経費内訳

### ア 沖縄林業振興特別対策事業（7地域・10市町村）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
昭和53年	32,962	21,973	5,614	4,913	462
54	111,950	74,404	19,018	12,747	5,781
55	144,798	96,525	24,673	21,196	2,404
56	138,968	92,640	23,619	21,590	1,119
57	115,842	77,226	19,690	14,172	4,754
58	56,083	37,108	9,767	9,208	0
59	55,134	36,481	9,601	9,052	0
60	68,702	45,459	11,963	11,280	0
計	724,439	481,816	123,945	104,158	14,520

### イ 林業構造改善村落特別対策事業（1地域・1市町村）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
昭和55年	45,000	30,000	7,611	3,729	3,660
計	45,000	30,000	7,611	3,729	3,660

### ウ 新沖縄林業振興特別対策事業（14地域・25市町村）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
昭和57年	56,700	37,800	9,600	5,696	3,604
58	114,578	75,892	19,796	14,402	4,488
59	147,736	97,854	25,525	18,933	5,424
60	176,468	116,884	30,489	24,602	4,493
61	200,579	132,852	34,654	23,467	9,606
62	230,215	152,482	39,775	31,258	6,700
63	229,859	151,898	39,621	29,708	8,632
平成元年	229,423	149,110	38,894	37,154	4,265
2	256,128	168,623	43,984	31,979	11,542
3	254,671	168,227	43,881	40,070	2,493
4	251,808	165,372	43,143	36,073	7,220
5	246,158	162,966	42,508	31,809	8,875
6	168,976	111,910	29,193	27,873	0
計	2,563,299	1,691,870	441,063	353,024	77,342

エ 沖縄林業振興広域モデル整備事業（2地域）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
昭和63年	43,427	28,800	7,540	5,315	1,772
平成元年	103,745	68,800	18,017	13,243	3,685
2	182,285	120,886	31,652	12,330	17,417
3	160,427	105,849	27,715	12,422	14,441
4	91,876	60,930	15,953	6,569	8,424
計	581,760	385,265	100,877	49,879	45,739

オ 山村・森林地域活性化緊急特別対策事業（3地域・3市町村）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
昭和63年	130,836	86,568	22,580	17,818	3,870
計	130,836	86,568	22,580	17,818	3,870

カ 林業山村活性化緊急特別対策事業（1地域・1市町村）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
平成2	23,342	15,461	4,033	1,953	1,895
3	31,497	20,154	5,257	2,546	3,540
計	54,839	35,615	9,290	4,499	5,435

キ 沖縄林業活性化特別対策事業（13地域・14市町村）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
平成3年	33,550	22,222	5,796	5,532	0
4	105,680	69,996	18,258	17,426	0
5	224,396	148,630	38,769	32,784	4,213
6	285,213	188,887	49,269	38,550	8,507
7	454,156	300,797	78,461	56,716	18,182
8	454,378	300,797	78,464	72,933	2,184
9	148,572	98,408	25,661	24,503	0
10	50,996	33,335	8,695	8,966	0
計	1,756,941	1,163,072	303,373	257,410	33,086

ク 沖縄林業経営基盤強化特別対策事業（6地域・8市町村）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
平成9年	281,819	186,666	48,674	17,053	29,426
10	353,812	233,209	60,831	36,696	23,076
11	396,146	260,680	67,997	32,215	35,254
12	381,686	252,860	66,005	43,048	19,773
13	88,215	58,410	15,274	7,379	7,152
計	1,501,678	991,825	258,781	136,391	114,681

ケ 沖縄林業経営確立特別対策事業（2地域・3市町村）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
平成13年	315,355	208,174	54,438	46,236	6,507
14	114,750	75,967	19,865	18,918	0
計	430,105	284,141	74,303	65,154	6,507

コ 沖縄林業経営構造改革特別対策事業（7市町村）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
平成14年	288,008	190,699	49,868	2,410	45,031
15	297,954	197,248	51,579	16,091	33,036
16	417,443	266,666	69,684	18,319	62,774
計	1,003,405	654,613	171,131	36,820	140,841

サ 沖縄林業構造確立施設の整備事業（10市町村）

(単位:千円)

年度	事業費	国庫	県費	市町村費	その他
平成17年	373,566	238,338	61,778	12,489	60,961
18	379,592	240,000	62,081	18,539	58,972
19	377,526	240,000	62,080	33,723	41,723
20	331,737	213,359	55,161	34,689	28,528
21	357,104	229,751	59,204	22,240	45,909
22	139,292	89,102	23,039	5,687	21,464
23	39,657	24,443	3,311	11,903	-
24	32,771	18,960	2,571	2,363	8,877
25	-	-	-	-	-
26	-	-	-	-	-
27	75,552	45,356	6,108	8,410	15,678
28	-	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-
30	597,520	242,236	6,893	19,436	328,955
令和元年	-	-	-	-	-
計	2,704,317	1,581,545	342,226	169,479	611,067

(※付帯事務費含む)

# 10-3 林構事業一覧表

(単位：千円)

市町村名	昭和		平成																	令和	合計
	53-63	1-10	11-15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1		
国頭村	442,213	335,853	509,570	21,227	21,080	225,555	285,844			32,677											1,874,019
大宜味村	69,853																				69,853
東村	83,171	6,667	258,828																		348,666
今帰仁村	151,440	243,150							223,362	44,048											662,000
本部町	71,861	62,176	207,004									32,235									373,276
名護市	270,848	498,552	304,994		23,503	148,015				59,965											1,305,877
恩納村	161,623	100,933																			262,556
宜野座村	27,576	26,754																			54,330
金武町	53,149	36,432					43,729	221,016								74,551					428,877
伊平屋村	19,902	127,430																			147,332
伊是名村		58,628																		77,733	136,361
広域モデル	42,519	381,029																			423,548
北部計	1,394,155	1,877,694	1,280,396	21,227	44,583	373,570	329,573	221,016	223,362	136,690	0	32,235	0	0	74,551	0	0	77,733	0	6,086,695	
石川市	22,176	59,698																			81,874
沖縄市		136,855																			136,855
読谷村		55,217																			55,217
具志頭村				227,104																	227,104
南風原町				34,587	259,066																293,653
仲里村	128,215	44,243																			172,458
具志川村	35,933	148,069																			184,002
渡嘉敷村	58,852	172,498																			231,350
座間味村	25,877	48,806																			74,683
南大東村		43,453																			43,453
北大東村		67,810					41,931	105,870	128,586												344,197
伊江村											39,071										39,071
中南部計	271,053	776,649	0	261,691	259,066	0	41,931	105,870	128,586	0	39,071	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,883,917
宮古島市																				518,955	518,955
平良市	37,806	135,033	354,812	86,954	63,922																678,527
城辺町	41,709	174,745																			216,454
下地町			118,679																		118,679
伊良部町	52,006	195,446																			247,452
多良間村	15,894	2,802																			18,696
宮古計	147,415	508,026	473,491	86,954	63,922	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	518,955	1,798,763
石垣市	166,913	435,061	87,778	38,691																	728,443
竹富町	53,077	237,794																			290,871
与那国町	22,353	320,643																			342,996
八重山計	242,343	993,498	87,778	38,691	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,362,310
沖縄全域		146,046																			146,046
事業費計	2,054,966	4,301,823	1,841,065	408,563	367,571	373,570	371,504	326,886	351,948	136,690	39,071	32,235	0	0	74,551	0	0	596,688	0	11,277,731	

# 1 1. 林 産・木材需給

## 1 1-1 県産木材の供給の概要

県産木材は、従来は主に製紙パルプ用のチップの他、木炭原木等として用いられてきたが、現在は、畜産敷料や菌床きのこの培地としてのチップ、オガ粉の需要が高まっている。

一方で、県としては、近年の木材加工技術の発展や作り手の技術向上等を踏まえ、家具や食器、さらに建築内装等、付加価値の高い用途である製材の利用拡大を目指している。

今後も引き続き、関係者と連携しつつ、県産木材のブランド化に取り組んでいく。

(単位：m<sup>3</sup>)

	合計	製材	薪 炭 材 等				チップ	オガ粉
			木炭原木	しいたけ原木	その他	小計		
昭和59年	20,639	5,806				3,382	11,451	
60	31,885	6,306				7,760	17,819	
61	20,506	4,540				5,127	10,839	
62	18,821	4,879				5,718	8,224	
63	22,456	6,149				6,119	10,188	
平成元年	26,728	5,146				6,187	15,395	
2	25,719	5,345				6,579	13,795	
3	19,691	1,954				6,600	11,137	
4	21,158	2,571	4,614	720	67	5,401	13,186	
5	11,694	2,389	5,439	375	48	5,862	3,443	
6	12,019	2,737	5,444	617	30	6,091	3,191	
7	11,874	3,010	5,066	630	651	6,347	2,517	
8	11,611	3,800	3,410	393	300	4,103	3,708	
9	12,437	3,562	3,469	160	589	4,218	4,657	
10	11,125	2,177	3,392	364	1,566	5,322	3,626	
11	11,370	1,496	2,940	364	832	4,136	5,738	
12	9,207	3,267	3,769	242	742	4,753	1,187	
13	8,477	2,818	3,561	181	806	4,548	1,111	
14	14,334	2,759	2,988	177	910	4,075	7,500	
15	11,448	862	1,882	248	888	3,018	5,470	2,098
16	10,319	1,341	1,480	213	1,586	3,278	2,835	2,865
17	8,246	3,011	1,936	208	733	2,877	1,092	1,266
18	8,845	1,075	1,780	186	1,048	3,014	2,590	2,166
19	6,590	660	1,981	177	711	2,869	2,550	511
20	5,384	699	1,695	127	546	2,368	1,457	860
21	5,812	957	1,595	44	1,003	2,642	1,209	1,004
22	4,587	785	1,625	36	888	2,549	510	743
23	4,713	1,617	1,573	21	302	1,896	517	683
24	5,365	1,923	1,485	21	253	1,759	1,001	682
25	6,063	2,101	1,423	-	235	1,658	1,657	647
26	5,267	1,820	1,330	-	298	1,628	1,009	810
27	4,548	1,372	1,184	-	391	1,575	613	988
28	4,668	1,046	939	-	293	1,232	1,049	1,344
29	8,728	970	1,420	-	223	1,643	5,281	834
30	7,845	855	1,374	-	212	1,586	4,612	792
令和元年	6,538	693	1,294	-	157	1,451	3,821	573

注：1. 昭和59～平成3年までの薪炭材等の小計には木炭原木、しいたけ原木、その他を含む。

2. 平成27年までの薪炭材等のその他は、薪、家具挽物材を含むが、平成28年度以降は薪のみとし、家具挽物材は製材として計上。

3. 県産木材供給量は、原木換算した量とする。

4. 合計と内訳の計が一致しないのは、四捨五入によるものである。